

■ 集まることの大切さを考える必要がある ■

福祉のまちづくり研修会から



山口県立大学
高野 和良 教授

8月25日、市民会館で開かれた福祉のまちづくり研修会であつた。高野さんは「地域の支えあい・ふれあい活動の魅力と今後の展望について」と題して講演した。

現状を見ると、一人暮らしや夫婦のみで暮らす高齢者世帯が多くなつており、それぞれの世代の暮らしがばらばらになっている。そのため、老後に不安感を抱く若い世代が多くなつた。これから高齢化が進み、人口が減るなかで、暮らしやすくなる社会の仕組みづくりが求められている。かつて、地域のなかにいろいろなつながりがあった。そのつながりが少なくなり、ばらばらになり、みんなが不安に思っている。しかし、それをつなぐ道員立てが見えてこない。地域のなかには、さまざまな組織がある。集まることの意味をもう一度考える必要がある。地域の役に立ちたいという多くの思いを、どうつなげていくかが求められている。思いを同じくする人やグループとの

接点をどうもっていくか。そのためには地域で何が起つているのか、課題が何なのか、情報を共有することが大切だ。集まる場づくりとして、総社市のふれあいサロンは、その代表例。のほりを立てるなど、地域のなかで見える活動にし、みんなにサロンへの関心をもってもらふことが大切だ。集まりをたくさん作つて、集まってみんなで話し合い、何かをし、みんなで地域のことを考えることが大切だ。そして、集まって地域のなかで暮らしやすくなる。私たちの生活を支える大きなものになる。総社では、すでに取り組んでいるが、地域のなかでそれぞれが支え合つていく仕組みづくりが必要だ。

集まれる場 見守り

健康づくりの集い
ふれあいサロン
小地域ケア会議

高齢になればだれでも、住み慣れた地域で元気に過ごしたいと思うのではないだろうか。年をとつても、閉じこもりがちにならず、集い、人話をしたり体を動かしたりすることが大切だ。ここでは、健康づくりの集いやふれあいサロン、小地域ケア会議の取り組みを紹介する。

■ 健康づくりの集い ■

元気に暮らすための介護予防事業の一つとして市では、体操や介護予防の知識を深めるための「健康づくりの集い」を実施しています。公民館の分館単位に市内19会場、各会場とも月1回のペースで開催中だ。

今年7月、21人の介護予防サポーターを養成。修了生の一人、佐野広子さん（清音軽部）は9月14日、水内分館で行われた健康づくりの集いに参加し、体操の指導をしました。佐野さんは、

「集いには、多くの人に参加してほしいです。お手玉やわらべ歌など、だれでもできることをすると参加しやすいでしょうね」と言います。「来月は何をするか」。集いの参加者同士で、今回の内容を話し合う場面もみられ、集まることを楽しみにしている様子が見られました。

■ ふれあいサロン ■

市社会福祉協議会が推進している「ふれあいサロン」。なかでも高齢者などを対象に小さな地域ごとで作る集まりは、

身近な公会堂や分館で、仲間づくりや生きがいづくり、介護予防を目的に開かれており、堅苦しいきまりなどはなく、だれでも参加できるものです。現在、市内123か所にサロンができています。「好きなことをして楽しく過ごし、来月もまた来ようと思う。それでいい」。ふれあいサロンいずみの赤坂久志さん（泉）は、サロンの存在意義についてこう言います。

ふれあいサロンは、地区の民生委員や町内会などが中心になって立ち上げており、実施箇所も少しずつ増えています。9月19日には、ふれあいサロン元町が新たに誕生しました。この日は約30人が参加。おしゃべりやゲームを楽しみました。立ち上げに携わった一人、民生委員の西廣子さん（総社二丁目）は、「長続きするように、和やかで気楽なサロンになれば」と、継続が大切だと言います。

■ 小地域ケア会議 ■

また、平成18年の介護保険の見直し後、おおむね小学校区ごとに、民生委員や福祉委員などが中心になって、小



水内分館での「健康づくりの集い」。この日は体操が中心で、写真はボールを使った体操をしているところ

地域ケア会議が21か所できました。この会議は、地域で介護予防や高齢者の見守りに取り組むための協議を行う場です。9月13日、阿曾分館で開かれた阿曾地区小地域ケア会議では、緊急時支援・見守り台帳を作ることにして話し合われました。緊急時支援・見守り台帳とは、一人暮らしの高齢者や障がい者の緊急時の連絡先やかかりつけ医、担当ケアマネージャーなどをまとめたもの。会議のメンバーが一軒ずつ訪問して作成しました。

この会議の委員長を務める水畑良雄さん（黒尾）は、「阿曾では、見守りを軸に活動しています。ですから、緊急時支援・見守り台帳を今後、いかに有効に活用して、見守りに生かせるかです」と、教えてくれました。

地域で、地域の人を見守ることの大切さ、そして、元気に無理なく、気軽に集まれるような場があり、そこに人が集まっていることが、ひいては介護予防につながるのではないのでしょうか。

介護保険

特集 介護保険